

北杜市立長坂中学校の歴史 (沿革史より)

1 校章について

昭和41年 4月27日 次の委員会を設置

校章委員会

校長，教頭，教務主任，理科・国語・社会・美術各主任

生徒会正副会長，教育委員，PTA会長

校旗・校歌委員会

校長，教頭，教務主任，美術・国語・音楽各主任，

生徒会正副会長，教育委員，PTA正副会長，

町三役，総務課長，議長，町議会文教委員長

昭和41年 5月30日 校章委員会

- ・学校を象徴する植物を中心としての図案募集を決定

- ・藤（学校に関係が深い），つつじ，白樺（ともにハケ岳高原の代表的植物），
せんだん（古来より縁起が良い植物），かしわ（枯れても葉が落ちない）を委
員会として推薦

- ・全校生徒アンケート結果より，藤が絶対多数となる

- ・藤を主題として図案公募決定

昭和41年 7月22日 校章委員会

- ・応募作品より17点を選ぶ

昭和41年 8月12日 校章委員会

- ・最優秀作品3点に絞り，最終決定を町長に一任と決定

昭和41年 9月05日 町長より校章決定の連絡あり

昭和41年9月27日の山梨時事新聞より

町教委は，新校章制定のため6月から町民，中学生徒から募集，600点の応募数
に対して8月末まで3回の審査を行った結果，白藤の花に長中の文字を浮かせた小
尾和彦さんの作品を校章と決めた。

いま，新中学校敷地は長坂小学校東側の高台で，昔は白藤の花が一面に咲いた
ところで，現南北教場では，白藤の花を校花としてマスコットにしていることか
ら，小尾さんは子どもたちのためと将来，町が白藤のように子どもとともに清く
伸びることを象徴したもの，と述べている。

2 校旗・校歌について

◎校旗

昭和42年 7月22日 校旗制定委員会

- ・以下のことを決定

- 校章を入れる ○両教場校旗の房の金モールを新校旗の房
にも入れたい ○えんじ（スクールカラー）を地色としたい

昭和42年10月 7日 校旗制定委員会

- ・甲府市奥野旗店を招き，検討結果，次のようになる

- 布地 あやにしき

- 色 えんじ

- 校章 旗の中央（校名等はいれない）

昭和43年 3月15日 第2回卒業式の途中で業者が校旗持参，樹立

◎校歌

昭和42年 7月22日 校歌制定委員会

- ・基本方針：校歌臭のない高邁の精神を打ち出した作詞

昭和42年10月07日 校歌制定委員会

- ・校歌募集要項の検討と決定

昭和42年12月20日 校歌制定委員会

- ・選者を甲府市教育委員会学校教育課長 岩波民造氏に依頼
決定

昭和43年 1月26日 校歌選定委員会

- ・選者岩波先生より選の結果報告
入選 中込 正氏（教員）の作品
佳作 2点
- ・補作を岩波先生に依頼
- ・補作完成後、近藤幹雄先生（都留文科大学助教授）に
作曲依頼

昭和43年 3月25日 校歌完成

昭和43年 4月 6日 校歌練習開始

昭和43年10月 8日 応援歌披露

- ・作詞者 野牛島豊二（初代校長）
- ・作曲者 清水寿恵子（当時音楽教諭・現長坂地区在住）

昭和44年 1月20日 竣工記念式典 校歌発表会 【学校創立記念日】

3 学園祭について

平成元年 9月14日 学園祭を「白藤祭」と命名し実施

4 太鼓隊について

平成02年10月 9日 故天野 宣先生より、長坂中学校和太鼓による組曲「校風」の楽譜受領

12月17日 故天野 先生他5名太鼓指導のため来校

平成03年01月25日 故天野 先生他5名太鼓指導のために来校し、本格的な練習に入り、2月25日の発表会までに12回の練習を行う

2月25日 和太鼓による組曲「校風」発表会

5 新校舎完成に関わって

平成16年10月29日毎日新聞より

長坂町教育委員会は、町立長坂中学校の新校舎完成を記念して製作したオブジェ「大地の記憶」と校門表札の除幕式、常緑樹「冬青（ソヨゴ）」の植樹祭を行った。

大地の記憶は、二科会員上田 快氏の製作

「冬青（ソヨゴ）」は、冬でも青い木のように逞しく育ってほしいという願いを込めて植樹した。根元には、『長坂のすべての子らが、冬青のように逞しく育つことを願ってやまん 長坂町』と、その思いを綴った碑がある。